

野生動物の保全と管理の最前線

モニタリング調査によって わかってきた野生動物の生態



森林内でひっそりと暮らす哺乳類を観察することは簡単ではありません。そのため研究センターでは、自動撮影カメラや痕跡、DNA を調べて個体数や生態系内の影響、群れ間の移動を明らかにしてきました。

シンポジウムでは研究センターで継続的または新しく開発した調査手法を紹介し、調査結果によりわかってきた哺乳類の生態を紹介します。

開催
日時

2020.2.16 (日)
13:00 ~ 16:30
(12:30 受付開始)



参加無料
要事前申込



開催
場所

兵庫県立美術館
ミュージアムホール

兵庫県森林動物研究センターシンポジウム

野生動物の保全と管理の最前線

モニタリング調査によって わかってきた野生動物の生態

プログラム

開会あいさつ 林 良博 研究統括監 / 国立科学博物館 館長

基調講演 ◆エゾシカのフィードバック管理とモニタリング
梶 光一 所長 / 東京農工大学 名誉教授

研究発表 ◆カメラを使ってシカとイノシシの個体数を調べる
東出 大志 協力研究員 / 兵庫県立大学 特任助教

◆植物を見てシカによる生態系被害の広がりや変化を把握する
藤木 大介 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授

◆アライグマの生態系への影響をカエルで評価する
栗山 武夫 研究員 / 兵庫県立大学 講師

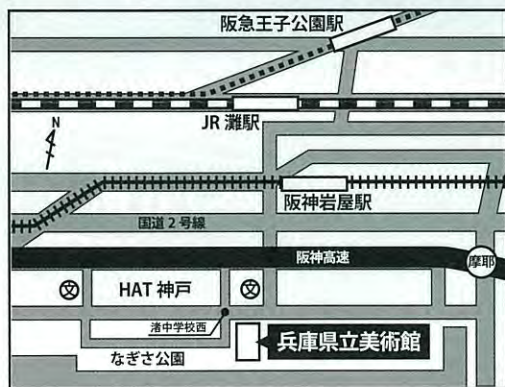
◆観察が難しい野生動物の移動を遺伝子で探る
森光 由樹 主任研究員 / 兵庫県立大学 准教授

◆体の内部から野生動物の今を知る
横山 真弓 研究部長 / 兵庫県立大学 教授

パネルディスカッション

コーディネーター 林 良博 研究統括監
パネラー 講師・各発表者

(会場付近図) 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1



兵庫県立美術館へのアクセス

- ・阪神岩屋駅から徒歩約 8 分
- ・JR 灘駅南口から徒歩約 10 分

※駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

【申込方法】

申込専用 QR コード



兵庫県森林動物研究センター HP
URL <http://www.wmi-hyogo.jp/>

定員 250 名

※定員になり次第締め切ります。

【お問い合わせ】



兵庫県
森林動物研究センター

〒669-3842

丹波市青垣町沢野940 TEL 0795-80-5500

主催：兵庫県森林動物研究センター 共催：兵庫県立大学

(独)環境再生保全機構「令和元年度環境研究総合推進費 4-1704 異質環境下におけるシカ・イノシシの個体数推定モデルと持続可能な管理システムの開発」支援事業